

# 平成30年度給与支払報告書の記入例及び注意点

※ 種 別												※ 整 理 番 号											
① 支払を受ける者 住 所 石岡市石岡7-7-7												(受給者番号) A-1111 (個人番号) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 (役職名) 部長 氏 (フリガナ) イシオカ イチロウ 名 石岡 一郎											
種 別		支 払 金 額				給与所得控除後の金額				所得控除の額の合計額				源泉徴収税額									
給料/賞与		千 円 ④ 8,435,100				千 円 ⑤ 6,391,590				千 円 ⑥ 3,630,000				千 円 ⑦ 28,000									
2 控除対象配偶者		配偶者特別控除の額		控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)								16歳未満扶養親族の数		障害者の数(本人を除く。)		非居住者である親族の数							
⑧ 控除対象配偶者		老人		特 定		老 人		そ の 他		人		特 別		③ 1									
⑨ 有		従 有		千 円 ⑩ 1		人 従 人 ⑪ 内 ⑫ 人 従 人 ⑬ 人 従 人		⑭ 人 従 人		人 ⑮ 5		⑯ 内 ⑰ 人 ⑱ 人		⑲ 1									
社会保険料等の金額				生命保険料の控除額				地震保険料の控除額				住宅借入金等特別控除の額											
千 円 ⑳ 360,000				千 円 ㉑ 120,000				千 円 ㉒ 50,000				千 円 ㉓ 200,000											
(摘要) ⑧ (1)石岡 五郎(年少) 前職分 (株)茨城 石岡市石岡1-2-3 H29.3.31退職 支払金額2,500,000円 社会保険料100,000円 源泉23,100円																							
生命保険料の内訳		新生命保険料		旧生命保険料		介護医療保険料		新個人年金保険料		旧個人年金保険料		住宅借入金等特別控除の額の内訳											
千 円		千 円 ㉔ 150,000		千 円		千 円		千 円		千 円		千 円		千 円									
住宅借入金等特別控除の額の内訳		住宅借入金等特別控除適用数		居住開始年月日(1回目)				住宅借入金等特別控除区分(1回目)		住宅借入金等年末残高(1回目)		千 円											
千 円		④ 1		28 年 3 月 31 日				住(特)		6,500,000		千 円											
住宅借入金等特別控除可能額		千 円		居住開始年月日(2回目)				住宅借入金等特別控除区分(2回目)		住宅借入金等年末残高(2回目)		千 円											
千 円		200,000		5 年				⑥				千 円											
⑦ 控除対象配偶者 (フリガナ) イシオカ イチコ 氏 名 石岡 一子 個人番号 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3																							
控除対象扶養親族 (フリガナ) イシオカ ジロウ 氏 名 石岡 二郎 個人番号 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4																							
(フリガナ) イシオカ サブロウ 氏 名 石岡 三郎 個人番号 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5																							
(フリガナ) イシオカ シロウ 氏 名 石岡 四郎 個人番号 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6																							
(フリガナ) イシオカ フユキ 氏 名 石岡 冬樹 個人番号 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0																							
未 成 年 者		死 亡 退 職		災 害 者		乙 欄		本人が障害者		寡 婦		勤 労 学 生		中途就・退職		受 給 者 生 年 月 日							
								① 特 ② そ の 他		③ 一 般 ④ 特 別		寡 夫		就 職 退 職		年 月 日 明 大 昭 平 年 月 日							
														○		29 4 1 ○ 43 10 10							
⑩ 支 払 者 個人番号又は法人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 (右詰で記載してください。) 住所(居所)又は所在地 石岡市石岡10-10-10 氏名又は名称 石岡市 株式会社 (電話) 0299-11-1111																							

(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

番号	項目	注意点
①	支払を受ける者	給与受給者の平成 30 年 1 月 1 日現在の住所を記載してください。また、給与受給者の方の個人番号（マイナンバー）を記載してください。
②	控除対象配偶者	<p>【有】主たる給与等の支払者が、自己が支払う給与等から配偶者控除をした場合は「○」を記載してください。</p> <p>【従有】従たる給与等の支払者が、自己が支払う給与等から配偶者控除をした場合は「○」を記載してください。</p> <p>【老人】控除対象配偶者が昭和 23 年 1 月 1 日以前に生まれた場合は、「老人」の欄に「○」を記載してください。</p> <p>※配偶者控除がない場合は、何も記載しません。</p>
③	非居住者である親族の数	配偶者控除又は配偶者特別控除の対象となる配偶者、扶養控除の対象となる扶養親族及び 16 歳未満扶養親族のうち、国内に住所を有しない方がいる場合には、その人数を記載してください。
④	住宅借入金等特別控除適用数	年末調整の際に住宅借入金等特別控除の適用がある場合には、当該控除の適用数を記載してください。なお、適用数が 3 以上の場合には、摘要欄に住宅借入金等特別控除区分、居住開始年月日及び住宅借入金等年末残高を記載してください。
⑤	居住開始年月日 (1 回目, 2 回目)	居住開始年月日は、和暦で年、月、日を分けて記載してください。
⑥	住宅借入金等特別控除区分 (1 回目, 2 回目)	<p>適用を受けている住宅借入金等特別控除の区分を次のように記載してください。</p> <p>住・・・一般の住宅借入金等特別控除の場合（増改築も含まれます。）</p> <p>認・・・認定住宅の新築等に係る住宅借入金等特別控除の場合</p> <p>増・・・特定増改築等住宅借入金等特別控除の場合</p> <p>震・・・東日本大震災によって自己の居住の用に供していた家屋が居住の用に供することが出来なくなった場合で、平成 23 年から平成 31 年 6 月 30 日までの間に新築や購入、増改築をした家屋に係る住宅借入金等について、震災特例法第 13 条の 2 第 1 項「住宅の再取得等に係る住宅借入金等特別控除」の規定の適用を選択した場合</p> <p>また、当該住宅の取得や増改築が特定取得※に該当する場合は、「(特)」を付記してください。</p> <p>※「特定取得」とは、住宅の取得等の対価の額又は費用の額に含まれる消費税及び地方消費税額が、8%の消費税及び地方消費税の税率により課されるべきものである税額の場合における住宅の取得等を指します。</p>

⑦	控除対象配偶者 控除対象扶養親族 16歳未満の扶養親族	配偶者控除の対象となる配偶者及び扶養控除の対象となる扶養親族、16歳未満の扶養親族の氏名、フリガナ及び個人番号（マイナンバー）を記載してください。また、控除対象配偶者及び扶養親族が国内において非居住である場合は、区分の欄に「〇」と記載してください。 ※配偶者特別控除の対象となる配偶者の場合には、この欄には記載せず、摘要欄に配偶者の氏名とともに「(配特)」と記載してください。
⑧	(摘要)	1 控除対象扶養親族及び16歳未満扶養親族が5人以上いる場合には、5人目以降の扶養親族の氏名を記載してください。この場合、氏名の前には括弧書きの数字を付し、⑨の欄に記載する個人番号（マイナンバー）との対応関係が分かるようにしてください。また、16歳未満の扶養親族の場合は氏名の後に「(年少)」、国内において非居住の場合は氏名の後に「(非居住者)」と付記してください。 2 年の途中で就職した方について、その就職前に他の支払者が支払った給与等を通算して年末調整を行った場合には、以下の3点を記載してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の支払者が支払った給与等の金額、徴収した所得税及び復興特別所得税の合計額、給与等から控除した社会保険料の金額</li> <li>・他の支払者の住所（居所）又は所在地、氏名又は名称</li> <li>・他の支払者のもとを退職した年月日</li> </ul> 3 租税条約等に基づいて源泉所得税額の免除を受ける者については、「〇〇条約〇〇条該当」と朱書きしてください。
⑨	5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号 5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号	控除対象扶養親族や16歳未満の扶養親族が5人以上いる場合には、5人目以降の個人番号（マイナンバー）を記載してください。この場合、番号の前には摘要欄において氏名の前に記載した括弧書きの数字を付し、扶養親族との対応関係が分かるようにしてください。
⑩	支払者	給与等の支払者の個人番号（マイナンバー）又は法人番号を右詰めで記載してください。